

2026年3月期 決算説明会資料

株式会社鶴見製作所
2026年5月29日

(東証PRM6351)

INDEX

目次

- 2026年3月期 連結決算ハイライト
- 連結業績の推移
- 事業概況(主力製品・グローバル展開)
- 成長施策
- 今後の見通し
- ご参考資料

INDEX

目次

- 2026年3月期 連結決算ハイライト
- 連結業績の推移
- 事業概況(主力製品・グローバル展開)
- 成長施策
- 今後の見通し
- ご参考資料

売上高・営業利益ともに過去最高を更新

■ 短期業績

- ・国内設備市場および北米・アジア市場向け需要が堅調に推移
- ・ZENIT社において中国市場の冷え込みなど外部環境の悪化に加え、生産性改善投資などに伴う将来収益性に関する見通しの変化を踏まえ、のれん・顧客関連資産の減損損失を計上

■ 事業の進捗・足元の強み

- ・BN型は国内約2,450台、海外約1,000台を販売し、グローバルな拡販が進展
- ・高効率・高異物通過性能を強みに、設備市場向け高付加価値製品として販売強化

■ 将来成長に向けた基盤強化

- ・ZENIT社との協業により、欧米設備市場向け高付加価値製品の展開を推進
- ・海外拠点拡充、生産自動化、内製化投資、人材投資を通じ中長期成長基盤を強化

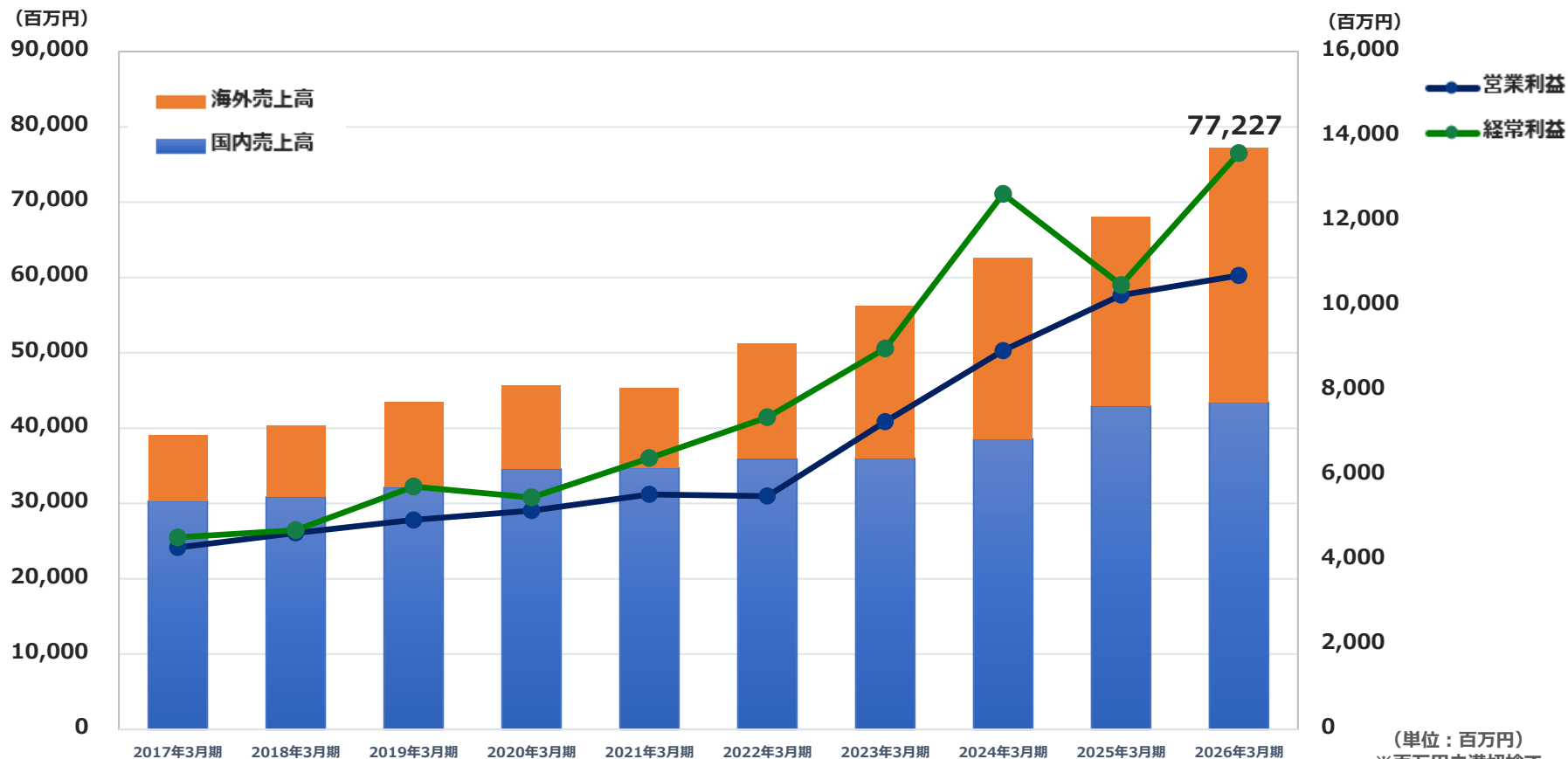
INDEX

目次

- 2026年3月期 連結決算ハイライト
- 連結業績の推移
- 事業概況(主力製品・グローバル展開)
- 成長施策
- 今後の見通し
- ご参考資料



	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期実績	前年度比	2027年3月期 通期予想
■ 売上高	680億円	772 億円	92億円	778億円
■ 営業利益	102億円	107 億円	5億円	73億円
■ 経常利益	104億円	136 億円	32億円	82億円
■ <small>親会社株主に帰属する</small> 当期純利益	87億円	51 億円	△36億円	56億円



※億円未満切捨て



結論	特別損失を計上		合計 4,017 百万円
	のれん 3,117 百万円	顧客関連資産 899 百万円	

主な 要因	 外部環境の悪化	 将来収益性に関する見通しの変化 (事業計画見直し・追加設備投資)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ウクライナ戦争の長期化 ・中国市場の冷え込み 	<p>生産性向上・グローバル市場拡大に向けた品質向上のための新規設備投資計画により、将来収益性に関する見通しの変化</p>

背景 経緯	 2024年7月15日 ZENIT社を完全子会社化	 グローバル戦略の強化
		<p>技術・業務提携や製品・販売面でのシナジー創出に取り組む</p>

対応策・ 今後の方針	 CEO交代	 技術・製品シナジーによる市場展開の推進
	<p>新体制のもと、事業計画の見直しと構造改革を推進し、収益力の回復を図る</p>	<p>日伊の技術・品質交流の成果として、当社独自のスマッシュ機構を採用したCTGポンプを開発しており、欧州他での展開を進め、今後の収益拡大を目指す</p>

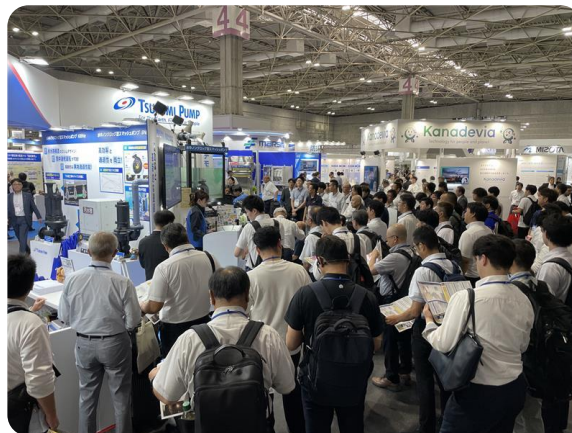
※上記金額は2026年3月期に計上

INDEX

目次

- 2026年3月期 連結決算ハイライト
- 連結業績の推移
- 事業概況(主力製品・グローバル展開)
- 成長施策
- 今後の見通し
- ご参考資料

下水道展 出展者コンテスト 技術フォーカス部門 優秀出展者 2年連続受賞



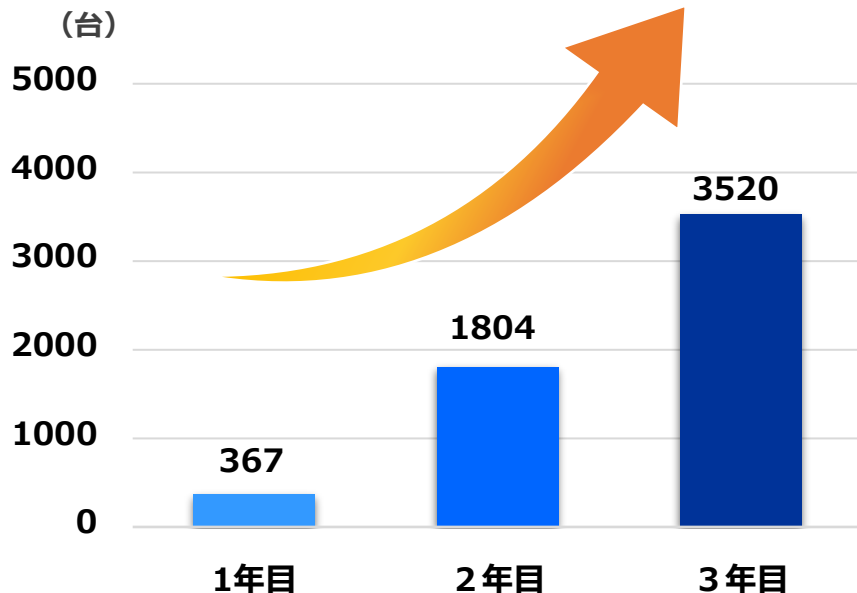
審査コメント

異物の詰まりを防ぎ高効率な性能を示す「スマッシュポンプ」は、ポンプ場・処理場における雨対策、長寿命化等に対応しつつ、維持管理の課題である異物の詰まりを低減する等、省人化や省力化に寄与する効果が高い技術として評価された。

引用：下水道協会ホームページ

スマッシュポンプBN型は安定成長を支える主力製品

販売台数推移



省エネ・高効率・省人化ニーズの高まりを背景に需要が拡大

- 国内市場2,550台に加え、継続的な引き合いにより堅調な需要環境
- 海外市場970台を販売し、グローバル展開を推進

※スマッシュポンプBN型は建設・設備市場に幅広く使用されるポンプ

スマッシュポンプの今後の納入先



地下鉄のトイレ排水として
スマッシュポンプ採用



ショッピングモールの排水用途として
スマッシュポンプ採用

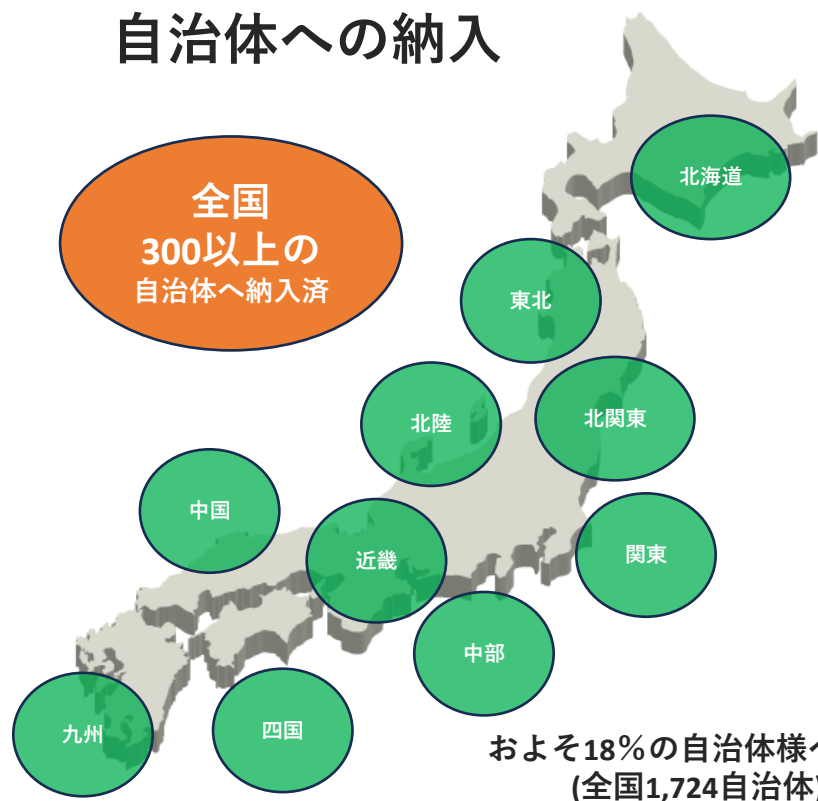


工場内の水中ポンプを他社製から
スマッシュポンプに切り替え



スマッシュポンプ 自治体への納入

自治体職員向けの冊子 「ジチタイワークス」に掲載されました



およそ18%の自治体様へ納入
(全国1,724自治体)



ジチタイワークス
 全国1,724の自治体様へ配布。
 自治体職員の認知度95%。発行部数12万部。
 読む目的
 「他自治体の事例を参考にするため」

@2026ジチタイワークス

ZENIT社との協業による海外展開強化

技術シナジー



A TSURUMI PUMP COMPANY



For The Earth, For All The People



ZENIT の防爆技術
×
ツルミ独自の
スマッシュ機構

防爆モータ

欧米の防爆規格に対応した
高信頼性モータ技術

スマッシュ機構

高効率で優れた異物通過性能の
ツルミの独自技術

グローバル設備市場へ
高付加価値製品を展開

海外市場環境



グローバル展開を推進
設備市場向け高付加価値ポンプ
の拡販を加速



北米市場で需要拡大
北米市場において
民間及び自治体双方からの
防爆規格汚水ポンプの需要拡大



グローバル設備市場におけるプレゼンス向上を目指します

チリ現地法人の開設

- ✓ 2025年10月、チリ共和国に現地法人「Tsurumi Pump Latin America SpA」を開設
- ✓ 当社初の南米拠点として事業活動を開始
- ✓ 鉱山市場に加え、建設・水処理分野へも展開
- ✓ 南米におけるシェアアップを推進



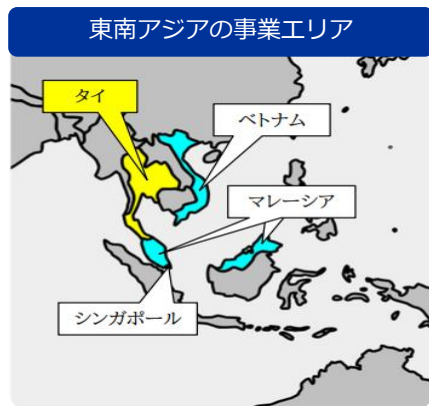
南米の事業エリア



所在地	チリ共和国 サンティアゴ
開設時期	2025年10月
主な目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南米市場への参入による事業基盤の構築 ・ 地域に根ざすことで鉱山・インフラ分野への販売を強化 ・ 主力製品を軸としたグローバル展開の加速
期待効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規市場の取り込みによる売上拡大 ・ 鉱山市場ほか重点分野での市場シェアアップ ・ 成長市場での収益性向上

東南アジア（液封式真空ポンプ） 駐在員事務所の開設

- ✔ 2007年のタイ現地法人設立以来、水インフラ関連市場を中心に売上を拡大
- ✔ 新たに駐在員事務所を開設し、東南アジア市場でのプレゼンスを強化
- ✔ 液封式真空ポンプや圧縮機を通して、石油化学分野、発電及び再生可能エネルギー分野を中心に、市場開拓を推進



所在地	タイ王国 バンコク
開設時期	2025年10月
主な目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 真空ポンプ・圧縮機を軸に、石油化学・発電・再エネ分野へ事業領域を拡張 ・ タイを拠点とした周辺国展開によるアジアでの事業基盤強化 ・ 中期計画に基づく既存事業の深化とグローバル売上比率の引き上げ
期待効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水インフラ中心の事業領域の多角化による売上拡大 ・ 成長分野への参入による売上および利益の拡大 ・ 海外展開加速による市場シェア拡大と中長期成長力の強化

INDEX

目次

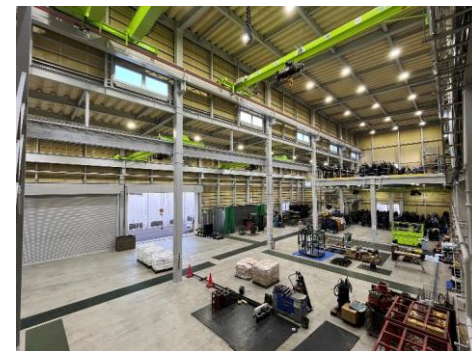
- 2026年3月期 連結決算ハイライト
- 連結業績の推移
- 事業概況(主力製品・グローバル展開)
- 成長施策
- 今後の見通し
- ご参考資料

富士丸産業株式会社 子会社化

子会社名	富士丸産業株式会社
子会社化時期	2026年3月
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型水中ポンプのレンタル ・ 排水設備の設計・施工（仮設・常設） ・ ポンプの修理・整備・性能試験
主な目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災分野における排水設備設置事業の強化 ・ レンタル～施工～保守の一貫体制の確立 ・ インフラ需要拡大 ・ メンテナンス体制の強化
期待効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対策/インフラ需要の取り込みによる経営基盤の強化 ・ 製品と各種サービスの一貫提供による付加価値向上と収益性向上 ・ 課題対応力強化による競争優位性の確立



本社工場及び新工場ミライオ外観



新工場ミライオ内観



水中ポンプ



常設ポンプのメンテナンスに伴う
引上げ作業

台湾工場のポンプ組立工程を自動化

- ▶ 7割の自動組立体制へ
- ▶ 年間生産能力が約40万台から約52万台へ増強
- ▶ 省人化による生産性向上と人手不足対応を実現






従来ライン

自動組立ライン



人的資本の強化に向けた主な取り組み

人材確保		人材育成		株式意識の向上
				
スキル認定制度実施	ワークライフバランス向上施策で帰省交通費の補助拡充	カムバック制度	階層別研修	従業員持株会向け譲渡制限付株式(RS)拡大
本人のスキル/経験に基づいて処遇を決定	長期出張者/単身赴任者の帰省に対する補助を拡充	退職した元従業員が勤務を希望した際に再雇用する仕組み	キャリア段階ごとに必要なスキルを習得するための研修	人事評価制度と連動させて付与予定

人材に関する主要指標 (2026年3月期)



平均年齢

40歳



平均勤続年数

14.2年



平均給与

667万円

ダイバーシティ・エンゲージメント主要指標 (2026年3月期)



管理職に占める

0.8%

女性労働者の割合



男性労働者の

80%

育児休業取得率



従業員持株会

78.2%

加入率

登録販売店を中心とした約400名のお客様を招待

(大阪関西万博/京都工場見学)

招待人数

約**400**名

登録販売店を中心とした
お客様をご招待



製造・納入現場の見学による当社技術への理解促進

工場見学を通じて、当社のものでづくりや品質管理、
技術力を直接体感いただき、理解を深めていただく



顧客エンゲージメント向上および中長期的な取引関係の強化

信頼関係をさらに強化し、継続的な取引と長期的な
パートナーシップの構築につなげる

大阪万博納入一覧

- ウォータープラザ・つながりの海の水質改善
設備工事
- 万博会場向けマンホールポンプ
- 熱供給施設向け冷却ポンプ
- バイオガス発電施設向け脱水機
- 真空下水ステーション用ポンプ

京都工場 見学

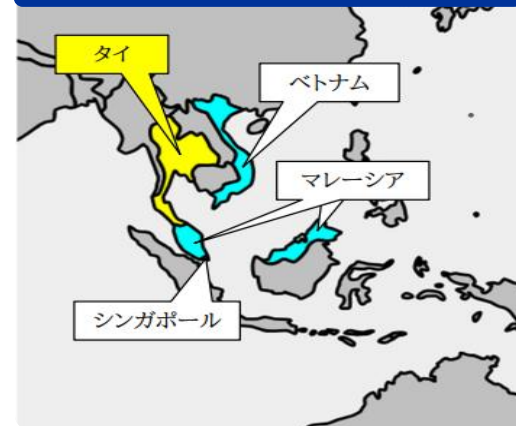


真空ポンプ事業で海外代理店会議を初開催

東南アジア駐在員事務所を開設したことにより、初の海外代理店会議を開催
真空ポンプ事業で今後ますますの海外市場拡大を図る



東南アジア駐在員事務所を開設



海外代理店会議の目的と効果

情報共有



各地域の市場動向・販売事例を共有し、営業活動の高度化を図る

関係強化



海外代理店との連携を強化し、継続的なビジネス基盤を構築

販売拡大



重点市場への展開を加速し、グローバルでの販売を推進

INDEX

目次

- 2026年3月期 連結決算ハイライト
- 連結業績の推移
- 事業概況(主力製品・グローバル展開)
- 成長施策
- 今後の見通し
- ご参考資料

今期は既存事業は底堅く推移する見込みだが、特に中東情勢の長期化を懸念し、
原材料価格高騰・調達不安定化リスクを織り込み微増収、営業減益、経常減益、
当期純利益増益の見通し

	売上高		営業利益		経常利益		親会社に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
上期	34,000	△4.9	3,200	△40.5	3,650	△37.4	2,600	△26.7	54.21
通期	77,800	0.7	7,300	△31.9	8,200	△39.7	5,600	8.5	116.75

(%表示は、上期・通期ともに対前年同期比の増減率)

想定為替レート

対米ドル (円)

145円

中東情勢による調達・コストへの影響

樹脂

▶ 原材料である樹脂の供給不安や価格高騰が継続

塗料、シンナー

▶ 原油価格の変動等により、塗料・シンナーの価格が上昇

ポンプのタービン油

▶ 原油価格の上昇や供給不安により、タービン油の調達コストが増加



これらの要因により、
様々な物の調達が困難になると同時に、コストが大幅アップ

今後の成長ドライバー

1

高付加価値製品の
拡販



- スマッシュポンプBN型の拡販

2

海外市場の
開拓・拡大



- 販売代理店との体制強化
- グローバル売上比率の向上

3

国内インフラ
分野の体制



- レンタル～施工～保守の一貫体制の確立
- メンテナンス体制強化

株主還元施策

- ✓ 株式市場の動向を見定め、かつ流動性に配慮しつつ、機動的に自己株式を取得
- ✓ 累進配当施策の継続（目標配当性向30%）

2027年3月期配当予想

■ 2027年3月期第2四半期末配当の内訳

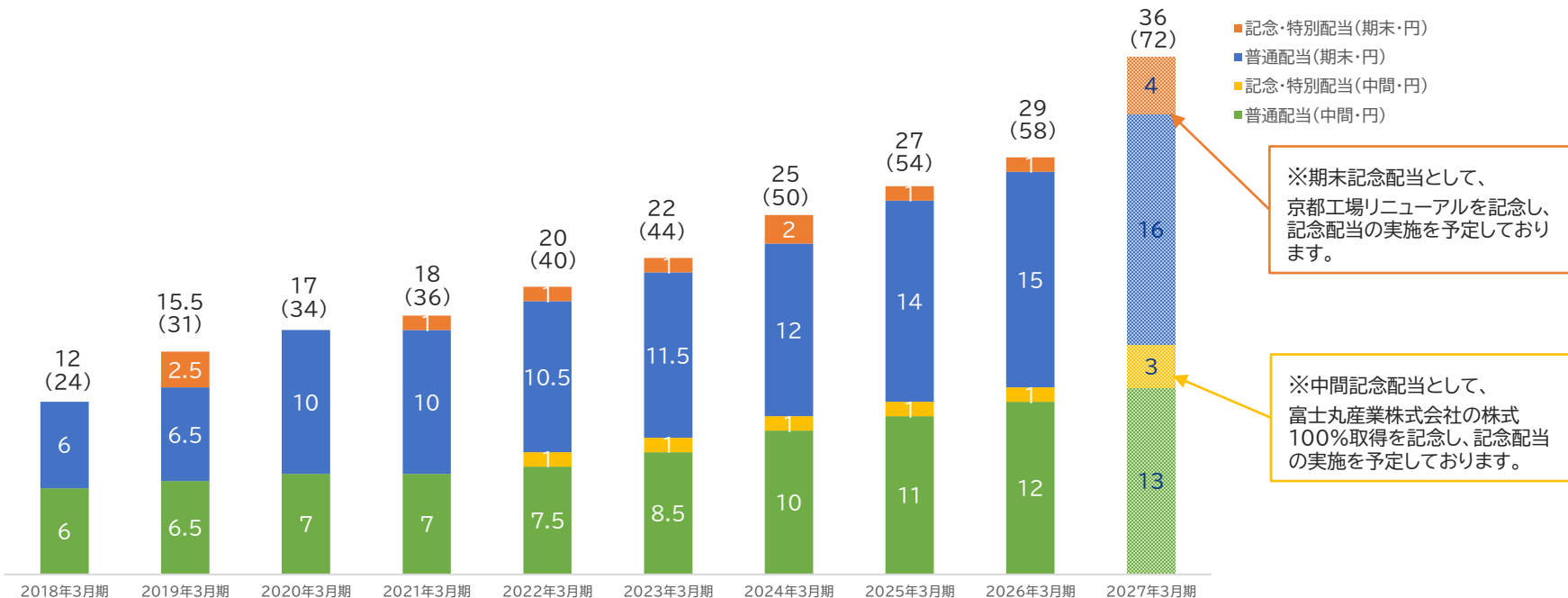
普通配当 13円00銭 記念配当 3円00銭

富士丸産業株式会社の株式100%取得を記念し、記念配当の実施を予定

■ 2027年3月期期末配当の内訳

普通配当 16円00銭 記念配当 4円00銭

京都工場リニューアルを記念し、記念配当の実施を予定



※期末記念配当として、
京都工場リニューアルを記念し、
記念配当の実施を予定しております。

※中間記念配当として、
富士丸産業株式会社の株式
100%取得を記念し、記念配当
の実施を予定しております。

累進配当施策の継続

- (注)
- ・直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無
 - ・2025年10月1日付で普通株式1株を2株に株式分割を実施しました。
 - ・2018年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しております。
 - ・()は株式分割前の金額。

INDEX

目次

- 2026年3月期 連結決算ハイライト
- 連結業績の推移
- 事業概況(主力製品・グローバル展開)
- 成長施策
- 今後の見通し
- **ご参考資料**

株式会社 鶴見製作所

TSURUMI MANUFACTURING CO., LTD.

- 創 業 1924年(大正13年) 1月5日
- 資本金 51億8,850万円
東京証券取引所プライム市場上場
- 売上高 772億円 (連結/2025年3月期)
- 従業員 1,635名 グループ計 (2026年3月期)
嘱託、契約社員、パートを除く

- 会社概要 水中ポンプを主力とした各種ポンプ、環境装置とその関連機器の製造と販売。
中核ビジネスである水中ポンプにおいては、日本国内でトップシェアを誇り、主に土木建設工事や下水道、水処理市場などで活躍。海外ではアジアを中心に北米・欧州・豪州・中東・アフリカ地域にも販売網が確立。生産拠点は、国内のマザー工場である京都工場を中心に米子工場、中国・台湾・ベトナムに展開。





ツルミの製品は工事現場をはじめ工場、発電所や各種産業施設など数多くの場所で活用されています。また、大雨や台風による河川の氾濫を防ぐ排水機場や、暮らしを支える水処理施設、人々の憩いの場となる水景施設など、さまざまな場所でポンプメーカーとしてのノウハウを生かした製品が採用されています。

建設市場

建設・土木分野

工事現場での排水・揚水に貢献



建設・土木工事

トンネル工事

鉱山・掘削現場

設備市場

産業・設備分野

工場や設備の排水を支える



ビル・工場設備

農業・灌漑

水産・畜産施設

造船場

発電所

景観・遊戯施設

インフラ分野

公共インフラの排水・防災・減災を支える



下水処理場

排水機場

河川・治水

水害対策

免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社鶴見製作所 IRチーム

T E L : 06-6911-2351

Email : Kabushiki@tsurumipump.co.jp